

外国人テロ戦闘員及び関連渡航者の管理

背景

I S I Lの支配地域が縮小する中、母国への帰還や別の国への移動を試みる外国人テロ戦闘員及び関連渡航者によってもたらされる脅威についての懸念が増大している。彼らは、外国人テロ戦闘員としてテロ活動に積極的に関与し、又は、テロ組織に支援を提供するために、我々の国及び他の国から、シリアやイラク等の紛争地帯に海外渡航した個人である。

これらの個人の中には、家族を紛争地帯に連れてきたり、紛争地帯で家族を設ける者もあり、これらの家族が帰国又は移動する可能性もある。女性及び児童を含み、その多くがトラウマとなるような暴力及び過激主義思想に参加したり、又はさらされてきた、これらの人々の帰国又は移動は、我々の社会が今後、直面しなければならない重要な課題である。これにより、人権を尊重し、年齢に配慮し、更にはトラウマやジェンダーが踏まえられた、証拠に基づく、多数の機関による介入への支援のコミットメントが必要となる。

我々は、執行、阻止及び訴追といった一連の措置や、適用可能な場合には、解放、脱過激化及び再統合を通じ、これらの個人及びその家族による脅威を管理するため、共に取り組むことにコミットする。措置は人権及び法の支配を尊重し、ジェンダーに配慮するべきである。このために、我々は以下のことにコミットする。

コミットメント

- 国内法・国際法及び国内・国際的な規制に従い、これらの脅威に関する情報共有の課題に対処し、インターポールとの協力を含め、関連する国境当局、治安当局及び司法当局の間の協力を強化する。重要情報の共有が迅速な形で確保されることに特に注意を払う必要がある。
- 世界的な安全基準を向上し、新しい国際航空安全計画を完全に履行するため、国際民間航空機関（ICAO）と協働することで、より良く察知し、これらの脅威に対処するために世界的な航空保安を促進する。

- 関連する国内法・国際法及び国内・国際的な規制に従い、渡航者をスクリーニングし、脅威を特定し、対抗するために、事前旅客情報（API）及び乗客予約記録（PNR）の利用の重要性を認識する。国連安全保障理事会決議第 2396 号に沿って、人権及び基本的自由を完全に尊重しながら、PNRの収集、利用、処理及び保護に関する基準を策定するために ICAOと協働することにコミットする。適切な場合には、スクリーニング措置がジェンダーに基づく偏見によるものではないことを確保することには特に注意を払う。

- 以下の国連安全保障理事会決議（UNSCRs）を自ら実施し、他国の実施を支援する。
 - ・ 外国人テロ戦闘員に関する国連安全保障理事会決議第 2178 号（2014 年）及び第 2396 号（2017 年）（特に旅客データ、生体データを利用した国境管理システムの実施、暴力的過激主義者及びテロリストによるインターネット利用の防止、及び政府全体でのテロ対策のアプローチと市民社会との協働の重要性の認識に特に留意して。）
 - ・ 国連安全保障理事会決議第 2242 号（2015 年）（特に女性・平和・安全保障アジェンダのテロ対策への適用に関し。）
 - ・ 国連安全保障理事会決議第 2250 号（2015 年）（暴力的過激主義の防止及び対策における若者の役割に関し。）

- 国連安全保障理事会決議第 2396 号の範囲内で、帰還する外国人テロ戦闘員の情報の共有に関する同決議の実施に向けた第三国への技術支援を支持し、調整する。

- 国連グローバル・テロ対策戦略（GCTS）の再検討に期待する。また、GCTSのバランスのとれた実施を通じた、テロリズムに対処する包括的な対応を提供し、世界的なテロ対策の指針を強化する独自の機会として、第 1 回テロ対策ハイレベル会合に期待する。

- 防止（検知、国境管理及びリスク評価）及び訴追（刑事司法）の双方を目的とし、国内法・国際法及び国内・国際的な規制に従う形での戦場に関する情報の収集、共有及び証拠としての適格性を促進するため、国内的に及び国際的な枠組みを通じ、権限のある当局間での情報共有を強化する。

- 介入戦略に関する課題について、実務者と政策立案者との間の協働を強化し、国境を越える組織犯罪及びテロリズムに関するローマ・リヨン・グループに対し、アプローチ及び実務的なイニシアティブ（人権及び法の支配を尊重する解放、脱過激化及び再統合戦略を含む。）を統合し、ジェンダーに関する情報及び年齢に配慮した考慮を踏まえることを奨励する。
- 外国人テロ戦闘員及び関連渡航者に対する強化されたスクリーニングと判別を念頭に置きつつ、解放、脱過激化及び再統合に焦点を当てた多数の機関による介入を実施するために、政府と市民社会の組織との強固な関係を形作り、また、暴力的過激主義防止のための国連行動計画を引き続き支持する。
- 特に国連、グローバル・テロ対策フォーラム（GCTF）及びEUを始めとする他の国際的な主体並びにその他関係国との間で、ベスト・プラクティス及び知見を共有すること等により、G7主導の調査イニシアティブとネットワークとの関係を拡大する。
- 外国人テロ戦闘員及び関連渡航者を判別し、管理する上で、パートナー国への支援を強化し、調整する。そうした支援は、技術的及び法的な支援並びに知識及びベストプラクティスの共有を含む。